土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	B-3	**調査位置**	広島県広島市安佐北区可部8丁目21			**北緯**	34° 31′ 47.393″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2021年 12月 21日 ～ 2022年 1月 5日	**東経**	132° 30′ 47.864″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 51.90m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**
総削孔長	13.00m							

試錐機	東邦D-1		
エンジン	ヤンマーNFD13	**ポンプ**	東邦 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	50.20	1.70		玉石混じり砂質土		暗褐	rd2		崖錐堆積物。 コア長30cmまでの玉石を多く含む。 玉石は細粒花崗岩を主体とし非常に硬質。 玉石間は、礫・細粒分を多く含む砂で、暗褐色を呈する。 礫含有量は深度により異なり、部分的に濃集する。 表層20cm腐葉土	
2				砂礫						
3	48.40	3.50								
4	47.30	4.60		玉石混じり砂質土						
5				玉石混じり砂礫		灰	rd3		旧河床堆積物。 コア長15cm程度までの硬質な玉石を含む。 玉石は泥質片岩、安山岩等、異地性のものが多く混じる。 玉石間は砂礫。	01.05 5.53
6	45.90	6.00								
7				砂礫						
8	44.90	7.00		玉石混じり砂礫						
9	42.35	9.55								
10				花崗岩		灰			花崗岩（CL級、軟岩I） コアは短柱状～長柱状コアとして採取されるが、コア肌粗く、ハンマー軽打で礫状に崩れる。 低角度な割れ目が断続的に入る。 優白質脈を伴う割れ目が断続的に入り、周辺は淡桃色に変色している。	
11										
12										
13	38.90	13.00								
14										

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1			1/100		
	1.25						
7	2.15	2	2	3	7/300		
	2.45						
20	3.15	6	7	7	20/300		
	3.45						
48	5.15	20	17	11	48/300		
	5.45						
20	6.15	8	7	5	20/300		
	6.45						
107	7.40	30	20		50/140	140	
	7.14		40				
24	8.15	9	6	9	24/300		
	8.45						
71	9.15	27	14	9	50/210	210	
	9.36			10			
	10.00	50			50/0		
	10.00	0					

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験　**原位置試験**

削孔月日
12/22
12/23
12/24
12/25
1/5